豊田工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	科学英語基礎ⅡA

科目基礎情報

科目番号	04125	科目区分	一般 / 選択必修（英）
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「Science in Our Daily Life」 Kobayashi Toshihiko 他著（成美堂）」 (ISBN978-4-7919-3416-4)／プリント教材		
担当教員	神谷 昌明,出嶋 真由美		

到達目標

(ア)科学論説文の読解に必要な語彙を習得する。
(イ)文法・語法を習得し、運用できる。
(ウ)科学論説文で使用される基礎単語を聞き取ることができる。
(エ)科学論説文を読んで、概要や要点を把握することができる。
(オ)科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について考えることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目	科学論説文の読解に必要な語彙・文法・語法を習得する。	科学論説文の読解に必要な語彙・文法・語法が理解できる。	科学論説文の読解に必要な語彙・文法・語法が理解できない。
評価項目	科学論説文で使用される基礎単語を聞き取ることができる。	科学論説文で使用される基礎単語を（何回も聞けば）聞き取ることができる。	科学論説文で使用される基礎単語を聞き取ることができない。
評価項目	科学論説文を読んで、概要や要点を把握し、科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について考えることができる。	科学論説文を読んで、概要や要点を把握し、科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について理解できる。	科学論説文を読んで、概要や要点を把握し、科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について理解できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 D1 適切な日本語を会話や文章で駆使できるとともに，英語による基礎的コミュニケーションができる。
JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
本校教育目標 ④ コミュニケーション能力

教育方法等

概要	３年次の「科学英語基礎I AB」で習得した科学・技術分野で使用される語彙、語法・文法の知識を基礎とし、さらに発展的な科学論説文を題材に、その英文読解の訓練を行う。教科書で扱っているトピックは多岐にわたり、科学論説文ゆえ、分析と観察に基づく明快な結論が提示されている。読解に加えて、文法の復習と確認、英作文の練習を行い、文法力の伸長を図りたい。また、科学論説文の読解に必要な語彙の定着のための語彙学習も行う。
授業の進め方・方法	
注意点	

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、Phone Dirtについての英文読解	Phone Dirtについての英文が理解できる。
		2週	Phone Dirtについての英文読解	Phone Dirtについての英文が理解できる
		3週	Driverless Bussesについての英文読解	Driverless Bussesについての英文が理解できる。
		4週	Driverless Bussesについての英文読解	Driverless Bussesについての英文が理解できる。
		5週	Stealth Keysについての英文読解	Stealth Keysについての英文が理解できる。
		6週	Unfamiliar Sources of Energyについての英文読解	Unfamiliar Sources of Energyについての英文が理解できる。
		7週	Delivery by Droneについての英文読解	Delivery by Droneについての英文が理解できる。
		8週	Uberについての英文読解	Uberについての英文が理解できる。
	2ndQ	9週	Convenience Storesについての英文読解	Convenience Storesについての英文が理解できる
		10週	Learn English with a Robotについての英文読解	Learn English with a Robotについての英文が理解できる。
		11週	Noise Levelについての英文読解	Noise Levelについての英文が理解できる。
		12週	Reading Facesについての英文読解	Reading Facesについての英文が理解できる。
		13週	Reading Facesについての英文読解	Reading Facesについての英文が理解できる。
		14週	科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について考える。	科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について考えることができる。
		15週	前期の（総）まとめ	科学英語に出てくる基本的な専門語彙・語法などが理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13

				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前15
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前14

評価割合

	中間試験	定期試験	課題	合計
総合評価割合	30	50	20	100
基礎的能力	30	50	20	100